

2005年度 日本青年会議所 建設部会
熊本ブロック建設クラブ代表所信

第21代 クラブ代表 原 裕一

スローガン *COCO arIkI!*
- クロスオーバーから生まれる CLUB -

【我がふるさとづくり】

本年は、建設クラブ独自の事業の他に、2003年度より携わってきた国土交通省関連事業において、住民、学生、NPO、行政とコラボレートし、我がふるさとの環境整備活動を行います。そして、継続事業である我がふるさとの子どもらに還元する青少年育成事業を2本柱として活動を行っていきます。この交流によるふるさとの創造活動を基盤とし、各種事業による多くのメンバーとの出会い、そして、今一番建設クラブが何を求めているのか改めて確認し、次世代につなげていきたいと思えます。

建設クラブは、昨今の急激な時代の流れに身を任せるのではなく、時流を的確に読み、ふるさとにおける建設業界の未来に向けて限りない希望や夢を見出す必要があると考えます。その為にも、地元の建設クラブとして今一度基本に立ち返り、共に考え自らリーダーシップを磨き、より素晴らしい自分たちの建設クラブを作っていかなければなりません。

【熱かぁ～ぐらいのコンパニオンシップ】

仲間は多い方が楽しいとは思いませんか？

よく「つるむ」という言葉を耳にしますが、これは仲間という事とはつながりません。建設クラブにおける仲間作りは、分野は違えど建設産業という大きな組織の中で生きていくメンバーが良きライバルであり、常に羨ましがられる様な仲間同士になるべきだと考えます。

例えば、「あの人はお洒落だ」、「あの人は友人が多い」、「あの人はお金持ちだ」等と何かしら人を羨ましいと思うより、羨ましいと思われる様に自分もなりたいと誰もが心の中で思っているはず。仲間とは、そういう人達で形成していくという目標があれば、次第に魅力のある仲間が沢山周りに付いてくるものだと思います。そして、建設クラブにおいても、十人十色であらゆる専門工事業者がいるわけですから、自ずとその業界に携わるメンバーは専門分野について自信を持っていると思えます。

この仲間作りは、ふるさとづくりにとって、とても大事なことです。

前述してあることをベースに人とのコミュニケーションの中で、相互依存作用や相互補完作用のある心の結びつきが必要であり、「あったか～い」ではなく「熱かぁ～」が丁度良いくらいではないでしょうか。

これからの熊本ブロック建設クラブでは、ブロック内の13LOMをも巻き込んで、建設クラブの未来を築いていかなければ、ふるさとづくりも次第に衰退していきます。

そこで、今年はメンバーを拡大させ、シニアとの交流も深め、各年代層の考え方や各地の方向性や思いなど多くのことを話し合い共に人生を成熟させていきたいと思えます。

「人生なんて趣味の悪い冗談の連続だ。」

と、ある人が言っていました。この人は人生をこのうえなくエキサイティングなゲームと
考えていました。そして、ディフェンスで安全第一の野球が面白くないのと同じように、
守りの人生ほど面白くないものはないと考えていたに違いありません。

この不況時代に生きていく我々建設クラブメンバーの皆様には、人生の中で勝ち組を得る
意志として、

「ツーストライクはとられたが、まだ三振を食らった訳じゃない」

という気概を持って、どんなタフな状況に直面しても、いつまでも子どものような目の輝
きを持ってエキサイティングな人生を築いていただきたいと思います。

また、必ず建設クラブは共に活動することにより、より多くのことを学ばせてもらえる
はずです。何事も諦めることなく、また万事が適当という惰性の生き方をすることなく、
40才前のまだアドヴァンテージのある若いうちに建設クラブを通して、1回きりの人生
ゲームの中のひとこまとして活動していただきたいと思います。

また、本クラブ活動では次のことを推進してまいります。

1. 国土交通省関連事業において、産官学民とコラボレートし我が**ふるさと**の環境整備活
動を行います。
2. 我が**ふるさと**の子どもらに還元する青少年育成活動を行います。
3. **ふるさと**における会員相互の交流を行い、活力ある建設クラブ活動を行います。
4. シニアと現役間の隔たりをなくし、メンバー全員の**ふるさと**づくりを行います。

本年、「**COCO arIkI ! -クロスオーバーから生まれる CLUB-**」というスローガンを掲げて
おりますが、「クロスオーバー」とは、いろんなジャンルを混ぜるという意味です。
裾野の広い建設産業のみならず異業種も在籍している熊本ブロック建設クラブメンバーと
共に夢を語り合っていきたいと考えています。

そして、人は単独では生きては行けないものであります。

だから、多くのメンバーの方々と色々な物事でコラボレートしながら新しいものを創造し
ていきます。1年間頑張ってくださいますので、何卒ご協力ご鞭撻の程宜しくお願い致しま
す。